



# Weekly Report

国際ロータリークラブ会長テーマ  
RI会長 ジョン・F・ジャーム  
真岡ロータリークラブ会長テーマ  
会長 宇賀神 裕一

人類に奉仕するロータリー  
絆を育もう



国際ロータリー第2550地区  
真岡ロータリークラブ

## ■地区大会本会議スケジュール

【大会会場】足利市民会館 大ホール

9時00分 開会・点鐘

国家斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱  
物故者黙祷  
開会の言葉  
歓迎の言葉  
ご来賓・地区外ロータリアン紹介  
ガバナー挨拶

9時30分 RI会長代理挨拶並びにRI現況報告

大会委員会報告 登録委員会  
資格審査委員会  
決議委員会  
合解決議案採択  
選挙

10時30分 来賓祝辞

RI会長代理ご夫妻に記念品贈呈  
エクスカーション「足利市内観光」出発  
記念事業目録 贈呈  
ロータリー希望の風 奨学金  
直前ガバナー、直前地区幹事、  
直前地区会計長に記念品贈呈  
祝電披露

11時00分 ガバナーエレクト・ノミニー紹介

ガバナーエレクト挨拶  
ガバナーノミニー挨拶  
国際大会PR(国際大会推進委員会)  
ロータリー財団100周年について

11時30分 昼食・休憩

11時50分 和太鼓演奏(屋外)

12時20分 特別参加者紹介

ロータリー財団学友会  
米山記念奨学生  
RYLA  
インターアクトクラブ  
ローターアクトクラブ  
派遣学生帰国報告・受入学生紹介  
ローテックス紹介

13時50分 休憩

14時00分 記念演舞 古武道

14時40分 記念講演「地球温暖化防止の切り札は？」  
記念講演謝辞

15時50分 ガバナー補佐紹介

地区内クラブ紹介  
各種表彰  
ロータリー平和地区センター推進地区表彰

## MU会場案内

### 月曜日

宇都宮90 東武ホテルグランデ  
小山中央 思 水 荘

### 火曜日

真岡西 フォーシーズン静風  
宇都宮 東武ホテルグランデ  
宇都宮東 ホテルニューイタヤ

### 水曜日

益子 益子カントリー  
しもつけ 石橋商工会館

### 木曜日

宇都宮西 東武ホテルグランデ  
宇都宮北 宇都宮グランドホテル

### 金曜日

小山東 ヴィラ・テ・マリアージュ小山

会長 宇賀神 裕一 幹事 市村 忠男 会報委員 石塚 龍夫 平石 典嗣 青木 圭太 馬場 照夫 宗像 拓

事務局 〒321-4305 栃木県真岡市荒町1203(真岡商工会館内) URL: <http://rc-moka.jp/>  
TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510 e-mail: [rc-moka@i-berry.ne.jp](mailto:rc-moka@i-berry.ne.jp)

ロータリー財団功労表彰

各種表彰

新人会員紹介

16時35分 次期開催ホストクラブ挨拶 宇都宮東RC

RI会長代理所感

ガバナー謝辞

閉会の言葉

16時50分 閉会の点鐘



■ガバナー挨拶 栃木 秀磨 様

ご来賓の皆様、ロータリアン、そしてご家族の皆様、地区大会によくそお越しくださしまして心より感謝申し上げます。

本大会に国際ロータリー ジョンF・ジャーム会長ご夫妻の代理として、RI第2520地区パストガバナー桑原茂様、令夫人茂子様をお迎えできましたことは、この上もない光栄でございます。

ジョンF・ジャーム会長のテーマは「人類に奉仕するロータリー」であります。ロータリー発足以来、「人類への奉仕」はロータリーの礎です。RI会長は、意義ある奉仕を行なう最善の道はロータリー会員になることだと述べられました。そして今後力を注ぐべきこととして、一つ目に若い世代の入会を積極的に促進すること、二つ目にロータリー財団100周年の記念祝賀、そして三つ目に公共イメージの向上を掲げられ、公式訪問の折に各クラブのお願いしております。

今年4月、2016年規定審議会が開催され、クラブ運営に大幅な柔軟性を認め、例会の頻度、場所、方法、会員種類に関する変更があり、ロータリーの大改革がなされました。

今こそ、ロータリーの基本理念を忠実に学び、先達が実践で築き上げてきた「商売における信用の証」であるエンブレムを汚すことなく、親睦と奉仕の両輪を順調に回して、元気なクラブを作り、人類の奉仕に慢心しましょう。

今大会における会長・幹事・地区指導者育成セミナーに

は、国際協議会研修リーダー第2500地区足立功一様をお迎えし、記念講演は足利工業大学理事長牛山泉教授に「地球温暖化防止の切り札は？」の講演をお願いすることが出来ました。これからのロータリー活動において大きな原動力となることを期待いたしております。

(地区資料より転

載)

■記念講演 足利工業大学 理事長 牛山 泉 様

【演題】地球温暖化防止の切り札は？

1. 地球環境とエネルギー問題

21世紀の世界の6大問題

- 人口問題
- 食料問題
- 環境問題
- 資源問題
- エネルギー問題
- 水問題



人類史における人口増加の推移として、70年間で人口が3倍になっている。これは増加ではなく爆発と言える。

現在70億人以上の人口がいるが、エネルギーをつかえているのは40億人だけである。残りの30億人はエネルギー難民であると言える。

化石燃料の埋蔵量予測は、石油41年分、天然ガス63年分、石炭218年分となり、近い将来、現在のエネルギー資源の枯渇が予測される。

物質的に豊かになったが、炭化水素燃料をエネルギーにすることにより、多くの二酸化炭素が発生する。二酸化炭素を発生させないために原子力発電に移行したが、ウランもあと70年で枯渇予測され、さらには廃棄物の処理が問題となっている。(日本CO2排出量世界5位)

上記の理由より、地球規模での温暖化がおき、タイの洪水や、様々な天変地異がこれからも拡大していこう。

それに歯止めをかけるためにも、自然エネルギー(再生可能エネルギー)について真剣に考えていただきたい。日本は先進国の中で、一番自然エネルギーの利用について遅れているのが現状です。

2. 自然エネルギーの現状

日本の再生可能エネルギーのポテンシャル

太陽光	150
風力(陸上)	300
風力(海上)	1600
中小水力	14
バイオマス	38
地熱	14
合計	211,600万KW



現在の原子力発電の44倍

2.1 風力エネルギー

現在、世界で30万台、4億3200万KWの風車がまわっている。(日本の電力総使用量2億9200万KW) これは世界の電力の4%である。

デンマークでは、国内電力の40%以上を風車でまかなっている。

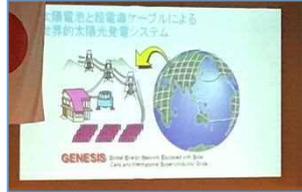
世界の風力発電装置に、多くの日本のメーカーが関わっている。

世界最大の浮体式大型風力発電機は福島にある。

2つのデメリットとして、騒音、景観を損なうことがあげられるが、現在ではシンボルとして地域おこしをしながら発電利用している利用例もみられる。(立川町)

## 2.2 太陽エネルギー

日本ではここ数年、太陽光パネルの普及が飛躍的に伸びました。世界的にも導入状況が加速すると共に、太陽電池の製造コストがスタート時から1/20以下に下がりました。



日本における発電量のポテンシャルも、現在の原子力の6倍以上となり期待されている。

現在砂漠に大規模な発電設備をつくり、超伝導ケーブルにより世界を結ぶ、世界的太陽光発電システムも考案されている。(デザートックプロジェクト)

## 2.3 バイオマスエネルギー

バイオマスとは、化石燃料を除く生物資源(草・木・生ごみ等)である。



このエネルギーは地球温暖化防止への貢献と、化石燃料枯渇問題を解決できる環境に優しいエネルギーである。

現在では生物資源を醗酵させ、メタンガスを取得しエネルギー変換させる、バイオガспラントもさかんに作られるようになってきている。

## 2.4 水力・地熱・海洋エネルギー

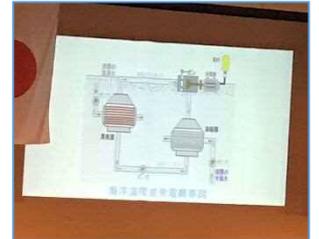
日本も水力発電には昔から力を入れており、電力供給の1割を担っている。関西電力の黒部ダムが有名。

世界では、ブラジル・パラグアイのイタイプ水力発電所が最大で、1400万KWの発電量があります。

地熱発電所では、九州電力の八丁原発電所が日本最大で、55000KWの発電量があります。

世界的にはアメリカ、フィリピン、インドネシアの順に開発が進んでおり、日本は6位となっております。

海洋エネルギーには、波の力でタービンを回す波力発電や、潮の満ち引きを利用したランス潮汐発電所、近年では、海水の深さによる温度差を利用した、海洋温度差発電も行なわれている。



## 3. 将来へのチャレンジ

内村鑑三氏の「デンマーク国の話」より、外なる有限の資源から、内なる無限のエネルギーへの重要性を伝えていております。

デンマークでは、2050年までに国内電力のすべてを再生可能エネルギーに推移することを、公約として打出しました。

経済重視の20世紀が終わり、環境重視の21世紀に突入しました。様々な価値観も大きく変わり、持続可能な社会を、我々世界中の国民が考えて行動していかなくてはいけないのではないのでしょうか。

## ■10月23日までのスマイルボックス

前回までのスマイル繰越金	857,000
会員	41,000
ビジター	0
本日のスマイル合計	0
スマイル今期累計	857,000
前回までの米山繰越金	18,942
米山	0
米山今期累計	18,942
合計金額	875,942

本日のプログラム  
10/23(日) 地区大会

次回のプログラム  
10/27(木)  
内部卓話

■月間予定 (10月)										(11月)																					
23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
地区大会				内部卓話							祝日 休会							月初会								内部卓話					

在籍 53名	出席免除者3名(有資格者 3名 + 有理由者 0名)							
例会日	出席義務	事前MU	事後MU	実出席者	内免除者	欠席者	出席率	月間出席率
補正後10月 5日	50	3	2	42	0	3	94.00%	